



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2026/04/03

研究課題名	成熟 T 細胞リンパ腫における次世代シーケンサーを用いた T 細胞受容体クローノタイプの解析、ラドバウド大学医療センター (Radboud University Medical Center) 病理部 (ナイメーヘン、オランダ) との共同研究プロジェクト
研究の対象	直近の 6 年間 (2020 年 1 月~2026 年現在まで) において和歌山医療センター および共同研究機関で下記の再発性あるいは治療抵抗性 T 細胞リンパ腫と診断された方: 末梢性 T 細胞リンパ腫 非特定型、血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫、節性濾胞ヘルパー T 細胞リンパ腫、未分化大細胞リンパ腫、腸管 T 細胞リンパ腫、成人 T 細胞白血病/リンパ腫、菌状息肉症、セザリイ症候群
研究目的・方法	多様な TCL の病理検体を利用し、最先端の次世代シーケンス技術を利用して、悪性腫瘍の裏付けとなるクローン性の確認を行います。 1) 腫瘍量の限られた、DNA 品質が最適でない病理診断検体においても TCR クローナリティの高い検出が得られるか、2) TCL サブタイプ間での TCR クロノタイプの比較により鑑別診断のための新たなバイオマーカーとして有用かどうかについて、これまでの解析方法では得られなかった新たな情報を発見し、診断に貢献することを目的としています。 研究期間: 許可日~2030 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	標本番号、組織ブロック標本、病理診断名、組織学的所見、免疫組織化学の結果、病歴、臨床診断名等
外部への試料・情報の提供	FFPE 薄切検体からの DNA 抽出、精製、濃度測定、品質確認は日本の検査会社に委託する。EuroClonality/BIOMED-2 法に基づくコントロールプライマー (100, 200, 300, 400bp) を用いて PCR 法での DNA 品質確認を行う。品質の良い DNA を DHL あるいは FedEx (追跡番号のある国際宅配便) で Patricia Groenen 博士 (共同研究者代表) に送付する。
研究組織	日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部 担当者: 中山 理祐子 1. 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 病理診断科主任部長 本庄 原 2. 京都大学医学部附属病院 病理診断科教授 羽賀 博典 3. 大阪赤十字病院 病理診断科部長 桜井 孝規 4. 高槻赤十字病院 病理診断科医師 渡邊 千尋 5. 大津赤十字病院 病理診断科部長 白瀬 智之 6. 関西電力病院 病理診断科医長 岩元 竜太 7. ラドバウド大学医療センター 病理部 (ナイメーヘン、オランダ) 准教授 Patricia Groenen, PhD
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 病理診断科 主任部長 本庄原 電話: 06-6312-1221、FAX: 06-6312-8867 研究代表者: 日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部中山 理祐子